



樹木いきいき講座 <その 13> 3班 藤原満男



野菜づくり 11 年目、初めてトマトが 6 段の房を付けている。ひたすら脇芽を欠く作業を続けた。カラスなどに横取りされるため、ネットを横からも上からも被せ防護している。

去年はキュウリがたくさん採れた。本葉 5 枚目までは脇芽を取り続ける。花も実も付けさせない。6 から 10 節までは脇芽から育つ子づるを 1 節だけ残す。11 節からは 2 節残す。この方法で 1 株あたり 90 本余り採れたが、今年は不調で 50 本位。しかし第 2 弾が順調で後 1 週間で収穫が始まる。

カボチャは堆肥の山に植え放任していた。サルに持ち逃げされたり虫に食われ腐った。今年は親づるを早めに摘芯し、脇から伸びた子づるを 2 本育て、子づるの脇から出る孫づるを欠く。朝開く雌花に雄花の花粉を付ける花合わせもやってみた。白い食品トレイの中央に穴を開け、裏返して実の下に敷いた。つる 1 本に 4 個まで。それ以上欲張ると美味しいカボチャは望めないそうだ。

これら野菜や梅・桃・みかんなどの果樹の剪定は、農家にとって収益に直結するため厳しいものがある。

私ら素人は四苦八苦・工夫しながらも楽しみを中心に据えてやっていきたい。

